

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
相談援助演習 I Seminar of Social Work I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)	社会福祉フィールド以外、履修不可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会福祉士国家資格取得のために必要な科目や社会福祉学に関連する科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
幡山久美子	本館1階 非常勤講師室	木曜日 10:00~16:00		授業中に指示します
授業の概要				
相談援助の基本的な視点を体験的に学んでいく。 自分自身を知ること、他者を理解することとはどのようなことなのかを習得する。				
授業の目標				
①他者との関係の中で、自己とは何かを考え、自己洞察、自己覚知を深めていくことができるようにする。 ②他者との違いを理解し、違いを認め合うことの意味について考えることができるようにする。 ③人とかかわるときの態度や姿勢を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
演習。 課題に基づく体験的学習やグループディスカッションを通して相談援助技術の習得を図る。 ほぼ毎回、小レポートを作成し、時間内に提出する。				
学習の成果 (学習成果)				
①物事に対する自分自身の考え方の方向性を認識し、人とかかわる際の留意点に気づくことができる。 ②他者の考え方との違いを知ることができ、多様な見方を身につけることができる。 ③相談援助者として、自分のかかわりのあり方を振り返ることができ、その必要性も理解し、説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明			
第2回目	自分を知る (1) ジョハリの窓			
第3回目	自分を知る (2) ライフストーリー			
第4回目	自分を知る (3) マッピング技法			
第5回目	自分を知る (4) パーソナリティテスト			
第6回目	他者との違いを知る (1) グループで競売ゲームをする			

第7回目	他者との違いを知る (2) グループでの合意形成	
第8回目	他者との違いを知る (3) 物語の登場人物像について語り合う	
第9回目	自己を振り返ることの意味について考える *レポート (第11回目の授業開始時提出する)	
第10回目	個人の価値観と専門職の価値	
第11回目	非言語の意味とかかわり行動 (1) 身体感覚	
第12回目	非言語の意味とかかわり行動 (2) 姿勢・距離	
第13回目	非言語の意味とかかわり行動 (3) 視線・表情・反応・声の調子	
第14回目	非言語の意味とかかわり行動 (4) かかわりのポイントを整理する	
第15回目	人とかかわりの中で自分の課題について考える *レポート (第15回目の授業までに作成していただくこと)	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	評価の基準
授業参加態度	40%	積極的に課題に取り組むこと。ディスカッションへの積極的な参加。小レポートでの課題に即したまとめ方と時間内提出。
レポート	60%	課題に即した記述であること。自分自身に対する振り返りがなされていること。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容 (態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
教科書: 山田容、『ワークブック社会福祉援助技術演習 I 対人援助の基礎』、ミネルヴァ書房 大野裕・田島美幸、『心のスキルアップトレーニング』		
履修上の留意点・ルール		
目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。 遅刻厳禁。居眠り・私語・携帯端末の不適切な使用について厳重に注意する。飲食禁止。		